

1 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

- (1) 位置づけ 「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定
将来の人口減少・少子高齢化に対応するための重点課題となる政策をとりまとめたもの
- (2) 計画期間 平成27年度（2015年度）～令和5年度（2023年度）（当初5年間の予定を2回延長）

2 「吹田市人口ビジョン」推計及び実績

人口に関する問題意識や目指すべき将来像についての認識を共有し、50年後も吹田市が豊かに安心して暮らせるまちであり続けるための取組を推進するため「吹田市人口ビジョン」を策定。

【推計】

次の3つの基本的視点に立った取組を行うことにより、合計特殊出生率が令和12年（2030年）頃までに1.8程度、令和22年（2040年）頃までに2.07程度まで向上し、学生をはじめとする若者の転出超過が25%程度抑制され、子育て世帯等の転入超過が促進される結果として令和42年（2060年）頃に32万人以上の人口を確保することができると推計（シミュレーション3）。

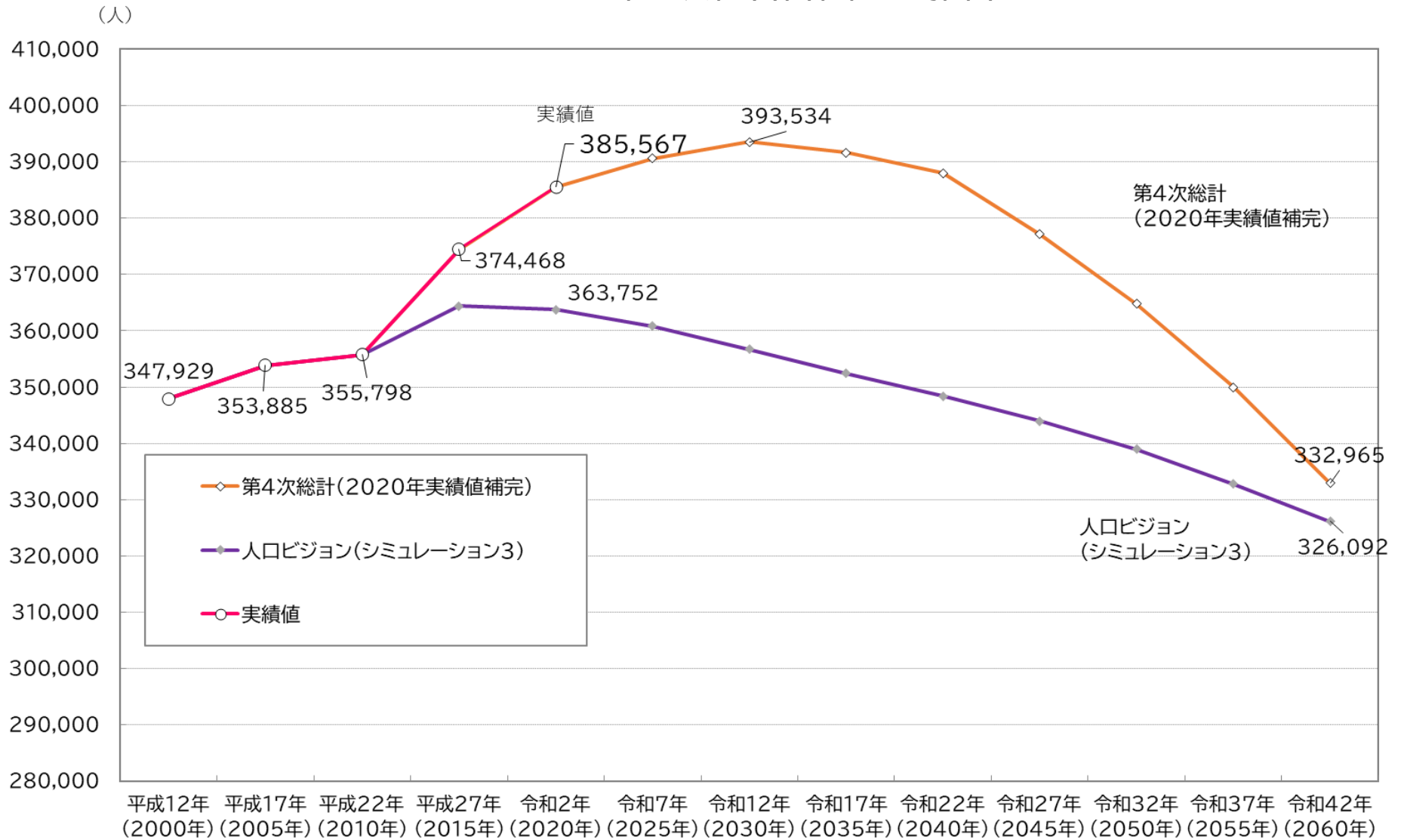
《基本的視点》

- ①若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望を実現できる環境を整備を整えます。
- ②「住みたいまち」としての魅力を高め、定住・転入を促進します。
- ③人口減少・超高齢化によって生じる課題に対応するとともに、健康寿命の延伸を図り、安心して暮らし続けられるまちを実現します。

【実績】

令和2年（2020年）実績値を元にした令和42年（2060年）推計値（第4次総合計画における推計ベース）は33.3万人となっており、人口ビジョンで展望している令和42年（2060年）の推計人口を確保できる予測となっている（次ページグラフ参照）。

人口ビジョンと第4次総合計画人口推計



3 4つの基本目標の達成状況（数値目標・R4）

「吹田市人口ビジョン」の将来展望を踏まえ、4つの基本目標を定め、それぞれについて、数値目標も合わせて設定。



【結果】

11の数値目標のうち、達成6、未達成5、達成率54.5%となった。

※色付きセルが達成

基本目標1

企業が成長し、地域経済に元気をもたらすまち

指標	策定時	R4実績	目標値
事業所における労働生産性 (従業員1人あたり付加価値額)	480万円	493万円 (H28)	504万円
開業率－廃業率	2.1pt	△2.4pt (H28)	3pt以上
商店街等における空き店舗率	9.0%	9.2%	7.3%以下

基本目標2

「住む」「楽しむ」新たな魅力が見つかるまち

指標	策定時	R4実績	目標値
転入超過を維持	1,939人	2,572人	維持
市民の定住意向	57.8%	61.4%	60%以上
本市観光施設利用者数（累計）	367万人	3,208万人 (R3年)	累計1億人

基本目標3

就職・子育ての希望がかない、未来を担う人材が育つまち

指標	策定時	R4実績	目標値
就労支援施策等による若年者の就職者数（累計）	299人	1,652人	2,250人
市内大学生の市内企業への就職希望率	30.8%	56.7% (R2)	35.8%
安心して子育てができる環境にあると思う子育て世帯の割合	62.3%	70.4%	70%
保育所待機児童数	90人	0人	0人

基本目標4

誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち

指標	策定時	R4実績	目標値
健康寿命	男性79.94歳 女性83.66歳 (H22)	男性81.7歳 女性85.2歳 (R2)	男性81歳 女性85歳

4 基本目標の実現のための基本的方向

基本目標の実現のため、基本的方向を定め、基本的方向に沿って進める具体的施策をアクションプランとして設定した。

基本目標	基本的方向
1 企業が成長し、地域経済に元気をもたらすまち	(1) 北大阪健康医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成
	(2) 市内への企業移転・進出による地域産業の活性化
	(3) 創業促進や企業の成長支援による雇用の創出
	(4) 魅力ある商業地づくり
2 「住む」「楽しむ」新たな魅力が見つかるまち	(1) 都市魅力の強化と戦略的な情報発信
	(2) 環境に配慮した快適で機能的なまちづくり
3 就職・子育ての希望がかない、未来を担う人材が育つまち	(1) 若者の地元就職への支援と働きやすい環境の整備
	(2) 子育てしやすい環境の整備
	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
	(4) 未来を拓く教育の充実
4 誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち	(1) 健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸
	(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり
	(3) 地域コミュニティの強化による安心安全のまちづくり
	(4) 市民ニーズの変化に応じた都市の形成

5 アクションプランの達成状況及び課題

- ・33のアクションプランを定め、その達成状況を測るために、77のKPIを設定した。
- ・R4年度実績での評価では、77のうち達成が27、未達成が44、調査結果未が6で、KPIの達成状況は35%となった。KPI未達成であっても、KPIに掲げる事業以外で基本目標の達成に資する取組を行った場合にはA評価とした。

基本目標	KPIの状況 (R4)					評価 (R4)			
	KPI数	達成 ※	未達成	調査結果未	達成率	施策数	A	B	評価未
1 企業が成長し、地域経済に元気をもたらすまち	9	1	7	1	11.1%	5	3	2	0
2 「住む」「楽しむ」新たな魅力が見つかるまち	14	3	8	3	21.4%	6	4	1	1
3 就職・子育ての希望がかない、未来を担う人材が育つまち	23	9	12	2	43.4%	9	6	3	0
4 誰もが安心して暮らせる「幸齢社会」が実現するまち	31	14	17	0	45.2%	13	12	1	0
合計	77	27	44	6	35.0%	33	25	7	1

※最新の実績値がR4以前のものを含む

A：目標達成に向け取組が進んでいる
B：目標達成に向け取組の強化が必要又は直近実績から後退している

【B評価となった施策】

基本目標1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済活性化につながる企業誘致 ・商店街等の活性化
基本目標2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・快適な道路環境の整備
基本目標3	<ul style="list-style-type: none"> ・若者と市内企業のマッチング ・地域の子育て支援の一層の充実 ・健やかに安心して学べる教育環境の充実
基本目標4	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が地域で安心して暮らせるための体制整備

5 総括

- ・各アクションプランに基づいて取組は進めてきたものの、KPIを達成できていない項目が多い状況。
- ・策定時から10年近くが経過する中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより社会状況も変化したことから、設定したKPIとは別の取組で補っているものもある。
- ・基本目標2、3及び4の数値目標については、半数以上が目標を達成し、子育て支援の充実や健康・医療のまちづくりにより、定住意向が高まっているという成果が見られた。